

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

4-6 月期の実質 GDP 成長率は前年比▲4.2%と、マイナス成長に転じた（第 1 図）。特に、個人消費の寄与度が 1-3 月期よりも 3.2%ポイント縮小したことが影響した。消費者物価上昇率は前年比+34.4%（8 月）に達しており、消費者の実質的な購買力を低下させている。中銀の国債買い入れにより、ベースマネーは 8 月に前年比+44.1%と大幅な増加を続け、ペソの減価も深刻化している。高インフレは今後も続くとみられ、政府は消費者物価上昇率が 2017 年の前年比+22.8%から 2018 年は同+42%に悪化すると試算している。

ペソの減価は、8 月下旬以降急激に進み 1 ドル 30 ペソ台に入った。中央銀行は政策金利を 60%に引き上げたが、それでも歯止めがかからず、9 月以降は同 40 ペソ付近まで減価した。こうした中、6 月に中央銀行総裁に就任したカプト氏はわずか 3 ヶ月で辞任した。加えて、6 月に IMF と合意し、9 月には融資枠が増額された期間 3 年、総額 570 億ドルのスタンバイ融資枠は一部しか利用されておらず、市場は不安定な状況が続いている。

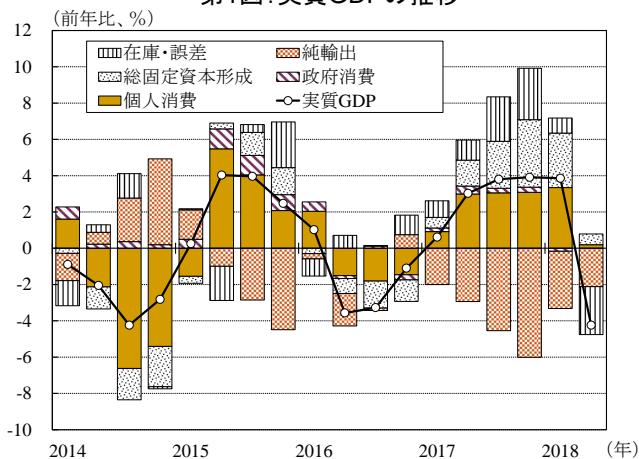
政府は IMF とのスタンバイ融資枠合意に際し、財政赤字を 2018 年目標の GDP 比 2.7%から 2019 年に同 1.3%に縮小する財政再建策を受け入れた。その一方で、物価上昇により国民の不安は高まっていることから、これ以上の景気悪化を避ける必要もあり、政府は財政政策面で難しい舵取りを強いられている。

2. 物価・雇用

物価：消費者物価は上昇が続き、8 月は前月比+3.9%と 3 ヶ月連続で+3%台で推移している。

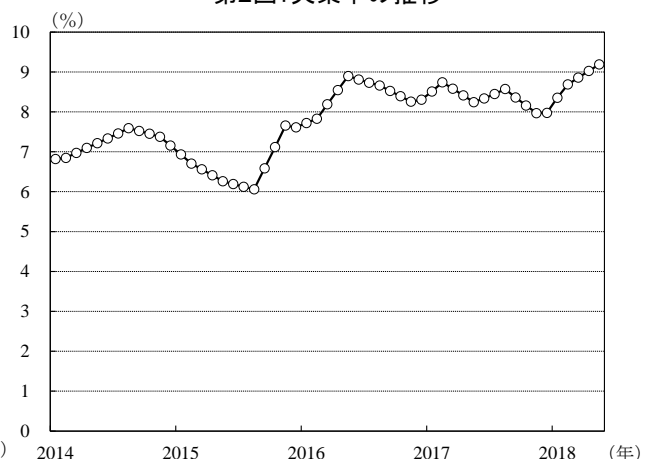
失業率：失業率は、昨年終盤に一時 8.0%まで低下したものの、その後は上昇基調に転じており、5 月は 9.2%となった（第 2 図）。

第1図:実質GDPの推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

第2図:失業率の推移

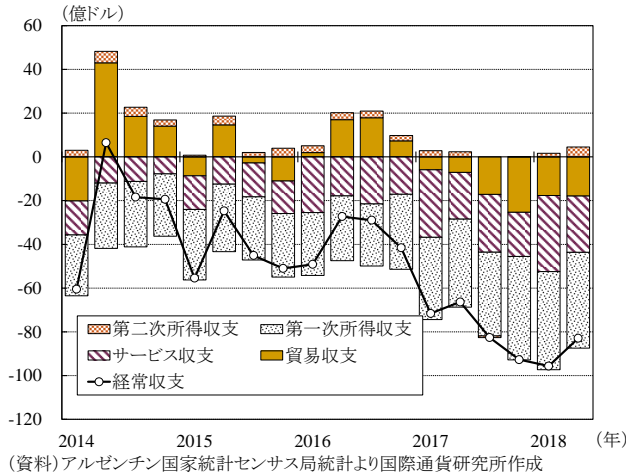


(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

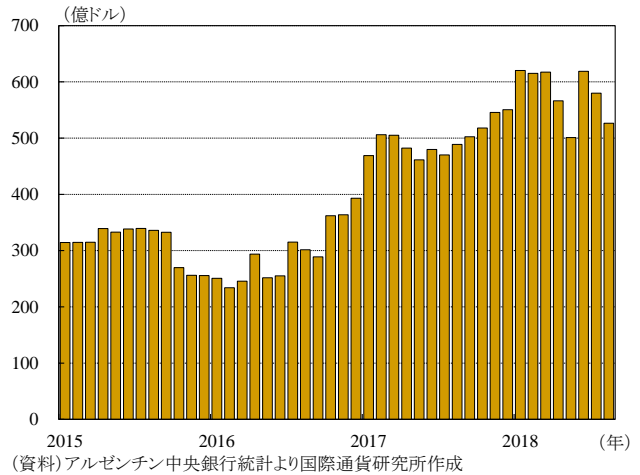
3. 経常収支、外貨準備高

4-6 月期の経常収支は▲83 億ドルと、前期に比べ赤字幅が 13 億ドル縮小した。サービス収支の赤字幅が 9 億ドル縮小したことが要因である（第 3 図）。外貨準備高は、ペソ急落に伴う市場介入により 8 月に 526 億ドルまで減少した（第 4 図）。

第3図：経常収支の推移



第4図：外貨準備高の推移



4. 金融市場

為替：ペソ相場は、中央銀行の財政ファイナンスによるベースマネーの増加、米国金利の上昇、および経常赤字といったファンダメンタルズの脆弱性に対する懸念等から下落が続いた。9月以降は1ドル40ペソ付近で推移している（第5図）。

株価：メルバル指数は年初から下落基調が続いていたが、IMFと新たにスタンバイ融資枠の増額が合意されるとの観測が広がり、9月に入って35,000ポイント近くまで戻している（第6図）。

第5図：アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



第6図：株価(メルバル指数)の推移



アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2014年	2015年	2016年	2017年
実質GDP成長率	▲2.5%	2.7%	▲1.8%	2.9%
鉱工業活動指数(前年比)	▲2.5%	0.1%	▲4.5%	1.7%
建設活動指数(前年比)	▲0.4%	-	▲12.4%	12.6%
自動車生産台数(千台)	617	527	473	472
自動車販売台数(千台)	614	587	721	884
失業率	7.2%	6.7%	8.4%	8.4%
消費者信頼感指数	40.8	54.6	45.2	45.6
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	23.9%	26.7%	-	-
(年平均)	38.4%	27.7%	40.7%	22.8%
輸出(FOB)(億ドル)	684	568	577	584
(前年比)	▲10.0%	▲17.0%	1.7%	1.2%
輸入(CIF)(億ドル)	652	598	556	669
(前年比)	▲12.4%	▲8.4%	▲6.9%	20.3%
貿易収支(億ドル)	32	▲30	21	▲85
対外準備(億ドル)(年末)	314	256	393	551
ベースマネー(億ペソ)(年末)	4,626	6,239	8,217	10,011
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末月)	6,330	8,583	11,246	11,477
(前年比)	20.2%	35.6%	31.0%	2.1%
経常収支(億ドル)	▲92	▲176	▲147	▲308
株価指数(メルバル指数)(年末)	8,579	11,675	16,918	30,066
対米ドル為替相場(年末)	8.4645	12.9450	15.8250	18.8250

2. 月次

	18年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実質GDP成長率(前年比)	┌	3.9%	┐	┌	▲4.2%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	2.6%	5.3%	1.2%	3.4%	▲1.2%	▲8.1%	▲5.7%	-	-
建設活動指数(前年比)	19.5%	19.3%	8.4%	14.4%	7.0%	▲0.1%	0.7%	-	-
自動車生産台数(千台)	22	39	50	46	47	39	41	49	-
自動車販売台数(千台)	64	74	80	73	76	55	47	52	-
失業率	8.4%	8.7%	8.9%	9.0%	9.2%	-	-	-	-
消費者信頼感指数	45.2	43.8	43.8	40.1	36.1	36.0	36.3	36.3	33.7
消費者物価上昇率(前月比) INDEC	1.8%	2.4%	2.3%	2.7%	2.1%	3.7%	3.1%	3.9%	-
輸出(FOB)(億ドル)	48	43	54	52	51	51	54	52	-
(前年比)	11.1%	9.8%	17.4%	6.5%	▲6.5%	▲1.0%	1.8%	▲1.4%	-
輸入(CIF)(億ドル)	57	52	60	61	64	55	62	63	-
(前年比)	32.1%	26.3%	8.8%	22.7%	6.3%	▲7.5%	2.2%	▲0.3%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	▲10	▲9	▲6	▲9	▲13	▲4	▲8	▲11	-
対外準備(億ドル)	620	615	617	566	501	619	580	527	-
ベースマネー(億ペソ)	9,661	10,029	9,955	9,994	10,205	10,436	10,668	12,083	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	17,586	18,019	18,489	19,218	20,318	21,253	0	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲96	┐	┌	▲83	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	34,939	33,011	31,115	30,006	28,559	26,037	29,287	29,294	-
対米ドル為替相場(月末)	19.6150	20.1175	20.1320	20.5150	24.9600	28.8500	27.3700	38.0500	-

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 矢口 満 mitsuru_yaguchi@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。